

事業所名

名護市ことばの教室「にこにこ」(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

令和8 年

1 月

13 日

法人(事業所)理念		基本的生活習慣を身につけ、社会性を育みます。子ども達の優しさと思いやりの心を養います。楽しさ、面白さ、心を揺さぶられるような経験と感動体験が提供できるよう努めます		
支援方針		1) 遊んで学べる療育支援 2) 子どもの「できた!」を応援します 3) 季節を大切にした療育支援、切れ目のない療育支援、コミュニティの形成		
営業時間		平日: 8時30分~18時00分 土曜日: 9時30分~16時00分(年4回程度)	送迎実施の有無	<div>あり</div> なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	健康状態の確認(検温・水分補給 等) 基本的生活スキルの獲得(着替え・排泄・片づけ 等)		
	運動・感覚	日常の遊びで粘土遊びやパズル・型はめ・工作・プットイン(手指操作) 姿勢と運動、動作の向上(公園での遊具遊びや散歩・体操・マット運動・とび箱・けんけんぱ 等)		
	認知・行動	「遊び」を通して様々な経験を重ねることで、多様性を身につける(ジャンケンゲーム、鬼ごっこ、イス取りゲーム、順番を守る、待つことができる 等) 数量・大小・色などの習得(マッチング・大小や色分類 等) 利用児が安心して活動に参加できるような支援(具体的な指示・手順書・理解しやすい時計の掲示 等)		
	言語 コミュニケーション	子どもの「主体性」を大事にする、拒否や否定的な態度を受け入れる、環境を整え言語での表現を促す 言語に特性がある子への対応(シャボン玉・呼気訓練器を使用した吹く遊び、ストローや舌圧子を使用した構音訓練 等) 言語の活用と形成(絵本や紙芝居の読み聞かせ、絵カードによる名称理解・表出の拡大、気持ちの代弁 等)		
	人間関係 社会性	愛着形成(こちょこちょくすぐりっこ・おんぶ・抱っこ・タオルケットブランコ・手遊び 等) 遊びを通じた社会性の発達(買い物体験・屋外活動・公園や図書館など公共施設の利用 等) 集団生活の中で基本的生活習慣を身につけ、自分やまわりの人を大切にする 「思いやりの心」「人との関わり方」を身につける		
家族支援		子どもの課題や目標を把握する為、関係機関との連携・協働を積極的に行う 必要な保護者に対してペアアレントプログラムの説明・案内	移行支援	就学先や移行先の選択への相談支援や情報提供、放課後の併用利用先や学校との情報共有や支援のすり合わせ
地域支援・地域連携		地域の学童や幼稚園、保育園との関係性をもつ、情報共有	職員の質の向上	子どもの支援に関わる研修や対応のやり方の学習会、定例会
主な行事等		四季を感じる体験・活動を取り入れたイベントの開催や屋外活動(遠足、水遊び、ハロウィンパーティー、クリスマス会、モノレール体験、映画鑑賞 等)		